

読者のお便りから

○毎回、同志社時報を楽しく拝読させていただいております。さて、記事内容ですが、同志社人のみを対象とするのではなく、一般の人にも興味を持たれるような同志社発信の情報誌にしていきたい。併せて『One Purpose』も必ず、ご送付願います。
(愛知県 関合昌詮)

○活字文化で育った私には、同志社時報や同志社タイムスで学園の様子を知る機会を与えていただき、ありがたく存じます。想い出多い建物描写の表紙は、何より心が引き付けられます。

昨秋の同志社ホームカミングデーに出席した際、八田学長の「21世紀の大学改革」と題する講演を聞き、先生方のご努力や様々な改革・企画のもと、ますます力強い同志社が生まれようとしている姿に感激しまし

た。また、今回の特集「現代世界と宗教」(117号)は、近年宗教を起点にした国際紛争が絶えないだけに、興味深く拝読しました。

(滋賀県 西本俊雄)

○在学中は母校のことについて、あまり熱心な生徒ではなかったため、広報課が用意された種々の刊行物にも目を通すことなく、時間を過ごしてしまいました。卒業後、年月を経るにつれて不思議と母校に対する思いが強くなり、少し前から『ワン・パーパス』を定期的に拝見しています。是非、同志社時報も新規郵送方よろしくお取り計らいください。
(東京都 横手文徳)

○私たち熊本出身者として、同志社人物誌「L・L・ジェーンズ」(117号)を特に興味深く読ませていただきました。教育問題が色々取り沙汰されている昨今、あらためてジェーンズや小楠の教育が見直されようとしている熊本です。特にジェー

ンズは教育ばかりでなく、「熊本近代化の父」とその功績が称えられています。「時報」を多くの方々に読んでいただけるよう努めたいと存じます。(熊本県・同窓会熊本支部 渡辺潤子)

○117号の同志社人物誌を大変興味深く拝読しました。特にジェーンズの再就職と離婚訴訟以降については全く存じていませんでしたので、新たな知識を得られ、「熊本バンド」のナシヨナリズム傾向が強かったのは、単に九州・熊本の風土からと認識していたことを修正することができました。これが、新島先生没後の同志社衰退の大きな要因でもあった訳ですが、第2次大戦中、同志社が被った国家権力側からの多くの迫害を多少とも和らげることができたのは、熊本バンドの一人である徳富蘇峰の影響があったとも思われ、これも一つの歴史であろうと思います。
(栃木県 赤松 龍)

※敬称略